

平成26年度瀬戸内海環境保全協会賛助会員研修会の開催結果について

◆開催趣旨

瀬戸内海は、かつて「瀕死の海」と呼ばれるほど海域環境の悪化が進んでいたため瀬戸内海環境保全臨時措置法(昭和48年)、水質汚濁防止法の総量削減規制(昭和54年～)等施策の実施や、市民、事業者、環境活動団体、行政等により、着実に改善の取組がなされてきました。その結果、瀬戸内海の海域環境はかなり改善されてきましたが、栄養塩類の偏在化による貧酸素水塊の発生、そしてそれによる青潮の発生、貧栄養化、生物多様性の低下や水産資源の減少等、色々な課題が存在しています。

このような現状を踏まえて、環境省では、瀬戸内海に係る環境保全施策として「瀬戸内海環境保全特別措置法」の一部改正、「瀬戸内海環境保全基本計画」の改正案、第8次総量削減制度、新たな環境基準等の検討や、瀬戸内海の環境に関する研究成果についても新たな知見を紹介することを目的として(公社)瀬戸内海環境保全協会の賛助会員ならびに正会員を対象に「瀬戸内海における今後の環境保全・創造の方向性について」をテーマとした研修会を下記のとおり開催しました。

◆研修日程

○日 時：平成27年2月10日(火) 13:00～16:45

○研修場所：パレス神戸 2階会議室

神戸市中央区下山手通5-1-16 TEL: 078-371-7800

○プログラム テーマ：瀬戸内海における今後の環境保全・創造の方向性について

・開会挨拶 賛助会員部会長 泉 伸司(いであ株式会社大阪支社 環境調査・技術部長)

・講演 テーマ：「瀬戸内海環境基本計画の変更等について」

講師：環境省水・大気環境局閉鎖性海域対策室 室長補佐 石川 拓哉

・講演 テーマ：「瀬戸内海の環境改善に向けた兵庫県の取り組みについて

～豊かで美しい海の実現をめざして～

講師：兵庫県農政環境部環境管理局水大気課 課長 春名 克彦

・講演 テーマ：「瀬戸内海の海域環境の現状と改善方法について

～海の豊かさを実感できるように～」

講師：京都大学名誉教授 藤原 建紀

・質疑応答

・閉会挨拶 (公社)瀬戸内海環境保全協会 常務理事 富岡 寛美

◆参加人数：103名(うち自治体より2府4県8市参加)

◆開催状況：



賛助会員研修会の会場



参加者との質疑応答